

□ 第62回通常総会見学会参加レポート

株式会社虎ノ門実業会館
代表取締役社長 河村 恭臣

東京以外では5年ぶりとなった通常総会が天神ビッグバンによる大規模な再開発が進む福岡の西鉄グランドホテルで開催されました。総会関連行事の見学会は総会に続いて福岡駐車協会の皆様のご協力をいただき、竹歳誠団長、加藤久喜副団長のもと、福岡大名ガーデンシティの視察から始まり、別府、北九州方面への視察旅行という行程で、全国各地の協会から参加した総勢39名により実施されました。

●6月15日(木)見学会 1 日目

8時50分、前日の総会会場であった西鉄グランドホテルのロビーに集合しました。福岡の夜を満喫し過ぎた顔立ちの方もチラホラ。まずは隣接する福岡大名ガーデンシティの視察へ徒歩で向かいました。

積水ハウス㈱福岡マンション事業部の閑章二郎シニア・マネージャーと企業開発課の原田享奈様に、オフィスロビーでプロジェクトの説明をいただいた後、3・4階に位置するカンファレンス施設の見学、15階のオフィスフロアの見学、そして地下駐車場施設は運営管理者である三菱地所パークス㈱福岡営業所課長代理の公庄航様にご案内いただきました。

その後、地域の憩いの場であるFDGCパーク(約3,000㎡の緑の広場)を通り、旧大名小学校南校舎を利用した官民協働のスタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」を見学しました。



西鉄グランドホテルと大名ガーデンシティ



カンファレンス施設の見学



駐車場施設の視察

続いて一行はバスで日田豆田町へ、バス内では福岡駐車協会の中尾会長から福岡と博多の名前の由来から歴史等を丁寧にご説明いただきました。日田豆田町に到着後、まずは1703年(元禄時代)に建てられた酒造が現存する薫長酒造で酒蔵資料館を見学後、お待ちかねの試飲タイムへ。そしてお土産を買うもよし、利き酒をするもよし、ソフトクリームを食べるもよしの自由時間を経て、徒歩で昼食会場へ向かいました。

1日目の昼食はうなぎの黒田屋でうなぎのせいろ蒸しです。熱々のうなぎを頬張りながらビールで喉を潤し、最後はせいろに挟まったご飯粒をホジホジ。

昼食後は江戸時代の商家や土蔵が多く残り国土交通省の「美しいまちなみ大賞」を受賞した歴史の町を散策しながら、バスへ戻りました。



薫長酒造



利き酒コーナーにて



うなぎの黒田屋



続いてバスは今日の宿泊先である別府を目指します。

薫長酒造の日本酒と、うなぎとビールを堪能した一行は夢の中へ。

別府では今から約1200年前、鶴見岳噴火と共に出来た熱泉の一つである海地獄と、日本最古、別府唯一の天然地獄である血の池地獄をめぐり、別府鉄輪温泉ホテル山水館へと到着しました。



海地獄



宿泊したホテル山水館

ホテル到着後、すぐに外はバケツをひっくり返したような大雨に。ギリギリセーフのタイミングは皆さんの日頃の行いのお陰でしょうか。

入浴後の意見交換会では団長の竹歳誠全日本駐車協会副会長の乾杯でスタート、美味しい料理とお酒に舌鼓を打ちながら駐車場ビジネスについて活発な意見交換がされました。そして開始から2時間、まだまだ名残惜しい時間ではありましたが、福岡駐車協会における今回の実行委員長である、株式会社八百治の内田秀人社長によるユーモアに富んだ素晴らしい中締めで意見交換会はお開きとなりました。



乾杯の発声をする竹歳副会長



中締めの挨拶をする内田社長

その後、別府の夜の街を満喫した人たち
がいたとかいないとか。



別府の夜は続く…

●6月16日(金)見学会2日目

昨夜の意見交換会の会場で朝食を食べた後は8時にホテルロビーに集合し、バスで最初の見学先である全国八幡様の総本宮で神輿と神仏習合の発祥地として有名な宇佐神宮へ向かいました。

宇佐神宮では「モノレールがあります。」の看板を横目にスタスタと参道の石段を上っていく89歳の島崎さんを見てモノレールに乗るのを諦め、何とか国宝の上宮本殿まで辿りつき、厳かな空気を感じながら「二礼・四拍手・一礼」という作法で参拝をしました。



日本一の水盤



宇佐神宮にて

続いて一行はバスで豊後高田昭和の町見学へ。

駄菓子屋の夢博物館、チームラボギャラリー昭和の町、昭和の夢町三丁目館からなる昭和ロマン蔵を見学後、各々で昭和30年代をテーマにした商店街を散策し、点々と並ぶ昭和の店に足をとめ、懐かしい品々を見て楽しみました。



おかえりなさい。思い出の町へ。



昭和37年当時の値段です。



新町通り商店街を散策

バスは昭和の町を後にして昼食会場である、由布の山々を眺望できるワイナリーレストラン朝霧の庄へ。2日目の昼食は豊後牛の焼肉セットでした。

焼肉とお酒でお腹一杯になった一行は昨日に続きバスでのうたた寝タイムへ。

途中トイレ休憩を挟みながら1時間ほどで今回の見学会最後の視察先である門司港レトロへと到着しました。

門司港レトロでは“恋人の聖地”はね橋(ブルーウィングもじ)を渡り、旧大阪商船から門司港駅に。その後は明治から昭和にかけて建築されたクラシックな建物を見ながらお土産を買ったり、ソフトクリームを食べたり、ビールを飲んだりと各自で見学会最後の自由時間を過ごしました。



門司港から下関を望む



旧門司三井倶楽部



門司港駅



門司港のバナナマンと

そしてバスは空港組の解散場所である博多空港へ。新幹線組は博多駅まで移動の上解散し今回の見学会は無事終了となりました。最後に今回の見学会にご尽力いただいた事務局の皆様、そして総会から見学会まで素晴らしい企画、調整をいただいた福岡駐車協会の皆様に心より感謝申し上げます。